

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・多目的室が十分広いため少しのスペースに落ち着ける個室があってもいいと思う。
	2	職員の配置数は適切である	7		・職員数は多いくらいだと思う。 ・足りてはいるが余裕がほしい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	・廊下がせまい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		・朝会を開始し、伝えてゆく。 ・今後チーム目標、個人目標を決めて、振り返りができるようにする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	・面談を行う ・改善すべき点を私欲印会議し、優先順位を決め、PDCAサイクルに基づき改善目標を決める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		・ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	・今後医師と支援方法について相談の機会を設けてゆきたい。 ・第3者委員会は設置しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・外部の研修が終わってからの研修がない為今後発表して行きたい。(外部研修の参加は少ない)定期的に内部研修したい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		・定期的に個人面談し支援計画を作成してゆきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	・スケジュール・カード等必要な子に応じて支援している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	・活動プログラムを計画しているが、チームとしては不十分
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	・平日は時間的な制約があり、どうしても同じような内容になっているが、限られた中で外出などを含めて工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	・平日は当日の参加人数を考慮に入れて、朝会で意思決定している。 ・長期休暇では、日々行事を決めて、平日ではできない支援を提供している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		・朝会にて確認して計画している。 ・組み合わせた計画作成しているが、もう少し工夫して作成したい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・朝礼がある
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		・必ずではないが、ある程度共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		・職員の勘違いミスもあるため、全体的に記録することを把握すべき
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1	・定期的に3カ月後、6か月後通知を出している。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	1	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		・参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1	・行事等の連絡は、ほぼ保護者からであって、学校からは特にない。 ・送迎時の連絡調整はできている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	3	・受け入れ予定がない。 ・一応ある
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	・特に保育所からの情報共有はない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		・子供の特性を理解して頂くため、情報共有・提供していく予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	・今後研修は受けたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	・交流の場を見つけ、機会をつくりたい。 ・学童を利用している子はおり、送迎でのやり取りはあるが、活動交流はいまのところない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	2	参加できるようにしていかなければと思う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・連絡帳、送迎時に伝えあっている。 ・帰りの送迎にお際に保護者様とコミュニケーションをとる中で、情報共有できるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	・今後取り組んでいくことが必要と思われる。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		・契約時に伝えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・いろいろな観点から助言等行っている。 ・相談・面談があった場合は、必要に応じて個別対応。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	・保護者会開催は、特にない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		・児発管中心に対応していく。 ・相談・帰りの送迎時に苦情があった場合は、夕方、次の朝職員に報告しノートに記入しています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		長期の際は、お知らせを配布している。
	35	個人情報に十分注意している	7		・個々の気付きを注意し伝え合う。 ・シュレッターにかけ、スマホ等で撮った写真は削除しています・
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		・施設のTEL、LINE等で行っている。 ・絵カード・スケジュール表を使用し、視覚支援しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5	・機会を作っていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		・必要な訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		・今後定期的に行いたい。 ・まだ1度も虐待防止の研修会に参加していませんが、今後研修に参加し、内部研修としたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	・契約時に説明している。 ・身体拘束が必要なお子さんがいるが、研修もする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	・保護者との連絡を取り合い把握している。 ・今のところ食物アレルギーのお子さんはいませんが、今後アレルギーがあれば指示。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		・子供の安心・安全を常に話し合う。 ・ヒヤリハットを作成し、事例集を作成しているか職員で共有する。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 25日

事業所名 ミントブルー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・放課後等デイサービスをご覧ください。	
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にな	7			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
準備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画し	7		
業務改善	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげ	6	1	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用	5	2	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内	7		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われ	7		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		
関係機関や保護者と	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	4	利用児なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	4	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っ	6	1	・保育所等の連絡はとくになし。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
の連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会が	2	4	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を	7		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	保護者会の開催なし。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		